

安芸津地域



1 将来像

瀬戸内海に臨む温暖な気候と豊かな自然環境を活かした
共に支え合う共生のまち

2 主要な施策の方向性

本地域においては、顕著な人口減少を抑制し、とりわけ女性や若者に魅力的である地域となっていくために、国・県の研究拠点や水産業など本地域の特徴である資源を活かした更なる取組みが必要です。また、地域特性を活かした観光資源の保全と魅力増進、多様性を尊重し合う社会環境の整備、空き家の利活用の促進をはじめとした魅力ある居住環境の整備や、子育て・教育環境の充実、県立安芸津病院との連携による健康増進、地域包括ケア推進体制の充実、安芸津港の整備による離島へのアクセス強化、地域の担い手となる若者世代にとって魅力的な雇用の創出や起業の支援などを柱として施策を組み立てていく必要があります。

さらに、地球規模での気候変動など、災害発生リスクの更なる増大が懸念される中で、災害に強い地域づくりを推進していく必要があります。



3 令和8年度に実施する主な事業

安芸津地域

瀬戸内海に臨む温暖な気候と豊かな自然環境を活かした
共に支え合う共生のまち

水産資源の保全

- ・令和7年産かきの大量へい死からの復興支援(3,012万円)
- ・三津湾における現況調査及びかき生育対策(380万円)

災害に強い地域づくり

- ・治水対策(宮崎川)(1億8,700万円)
- ・風早地区の高潮対策、港湾施設等の長期保全(3億2,120万円)

地域資源の活用・担い手の創出と定住

- ・観光協会と連携した地域資源の整備とプロモーションの充実(1,490万円)
- ・正福寺山公園の整備(1,800万円)
- ・地域おこし協力隊の配置(651万円)
- ・ミッション型地域おこし協力隊制度の活用(490万円)



安芸津産のかき

治水対策(宮崎川)

平成30年7月豪雨及び
令和3年7月豪雨において、三津大川及び宮崎川
の氾濫により、広範囲に
床上・床下浸水の被害が
発生したことから、床上浸
水(50cm以上)の改善を
目標として宮崎川放水路
の整備を進めます。



項 目	R8	R9	R10	R11	R12
支障物件移設	下水・上水道等				
工 事					